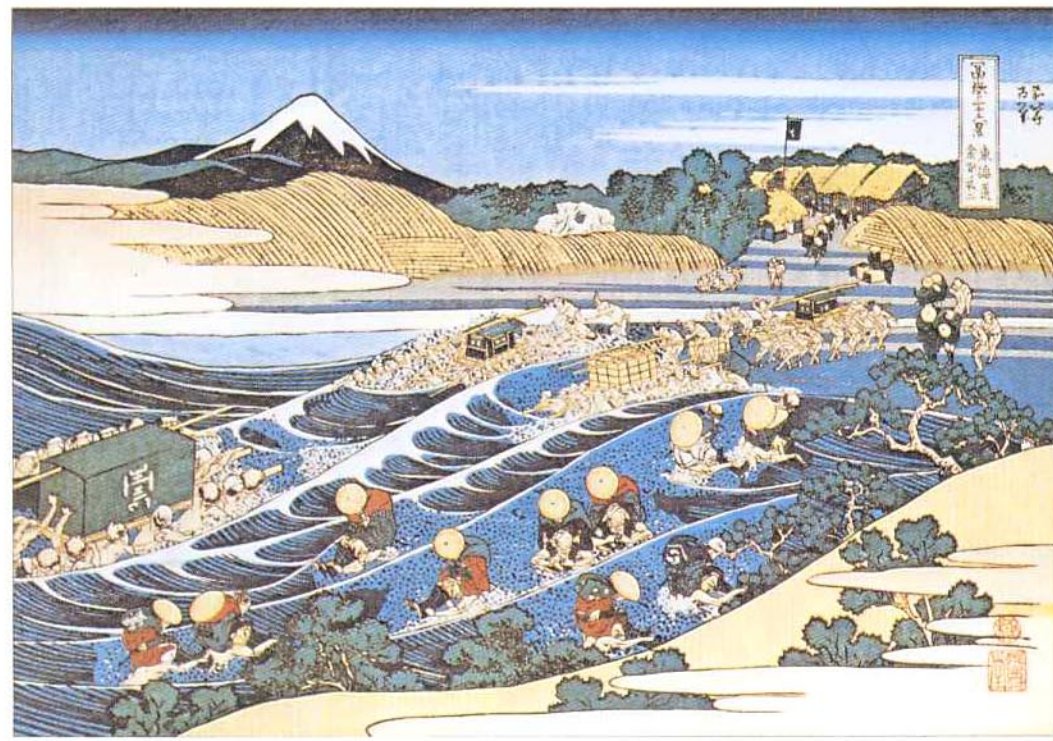


大井川

Oi River



「葛飾北斎筆」

「きみだれの 雲吹きおとせ 大井川」と川留にあった芭蕉によって詠まれた大井川は、江戸幕府により架橋、渡船が禁じられ、江戸城の要害として渡渉制度が決められた。

Bridge construction and navigation were prohibited in the Oi River by the government to protect Edo Castle in the Edo Era. (drawn by Hokusai in the 19th century)

国土交通省中部地方整備局 静岡河川工事事務所

〒420-0068 静岡市田町3丁目108番地 Tel (054)273-9100

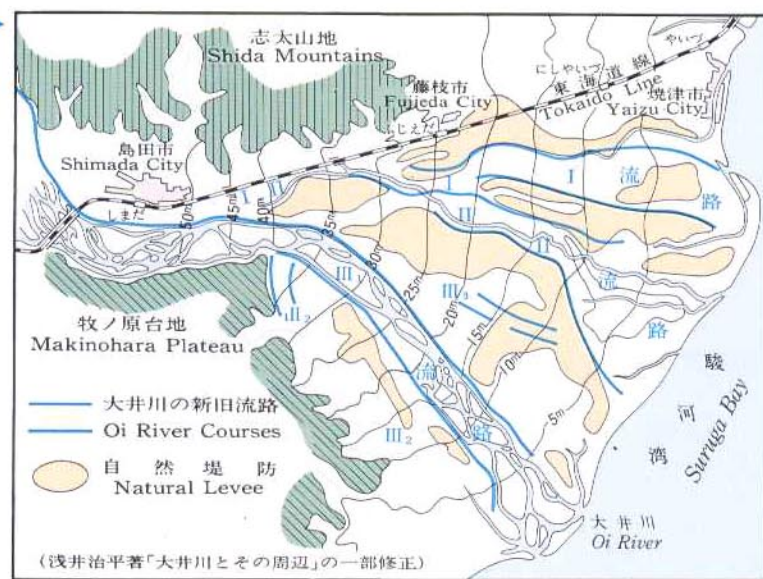
Ministry of Land, Infrastructure and Transport
Chubu Regional Development Bureau
Shizuoka River Work Office
Tamachi 3-108 Shizuoka City, 420-0068 Japan Tel(054)273-9100

2. 大井川の歴史(1) HISTORY OF THE OI RIVER (1)

大井川下流部の流路は、扇状地上を古い時代から現在に向けて東から西へと移動したといわれています。そして洪水時の多量の土砂が扇状地を形成したといえます。

また堤防などの治水施設が不完全であった近世以前では、洪水時の大井川の流路は、現在のように1つではなく、何本もに分かれて扇状地上を扇河湾に向かって流下していました。

The course of the Oi River changed on the alluvial fan, which consists of sand and gravel carried by floods from the Oi River.



(後井治平著「大井川とその周辺」の一部修正)



大井川町の舟型屋敷 (Surrounded by ship-shaped hedges)

To provide against the Oi River inundation, the houses were surrounded by ship-shaped hedges.

いかにしても抗しがたい大井川の激流に対し、洪水時の避難地として、石垣を積んだその上に、丈の高い水屋が建てられました。

To shelter from the inundation of the Oi River, tall houses were constructed on the banked foundations.

大井川沿いの集落は、自然堤防などの微高地上に発達していました。そして村の田畑、家屋敷を水害から守るため、小規模な水はねの上手、囲土手を作りました。しかし、大井川の流路を固定し、治水を完全に行うには大井川の洪水はあまりにもすぎまじいものであり、毎年のようにどこかで水害を被っていました。そこで各個人の洪水対策として、家のまわりを三角形に囲む「舟型屋敷」が造られました。そして、三角形の鋭角部が扇流のおし寄せる方向にあり、洪水時には扇流を避けるようにする舟のような姿となります。これを大規模にしたものが舟型集落といわれ、同様の形をしていました。



大井川町の水屋 (Shelter house)



赤松の川除地蔵 (River God)

猛威をふるう大井川の川辺に、人々は川除地蔵をたて、水神をたてて祭ってきました。水害を鎮め、水害の難からかたたいという切なる願いがこめられています。

To avoid flood disasters, people have prayed River God.

4. 水害 FLOOD DISASTER

近世以降現在まで、人々は洪水から家屋、田畑を守るために、これまで自由奔放に流れていた大井川を堤防によって制御しようと、血のにじむ努力をしてきました。しかし大井川は、土砂や流木を多量に含んだ激流が水衝部に激突するため、同一箇所が何回も破壊されています。

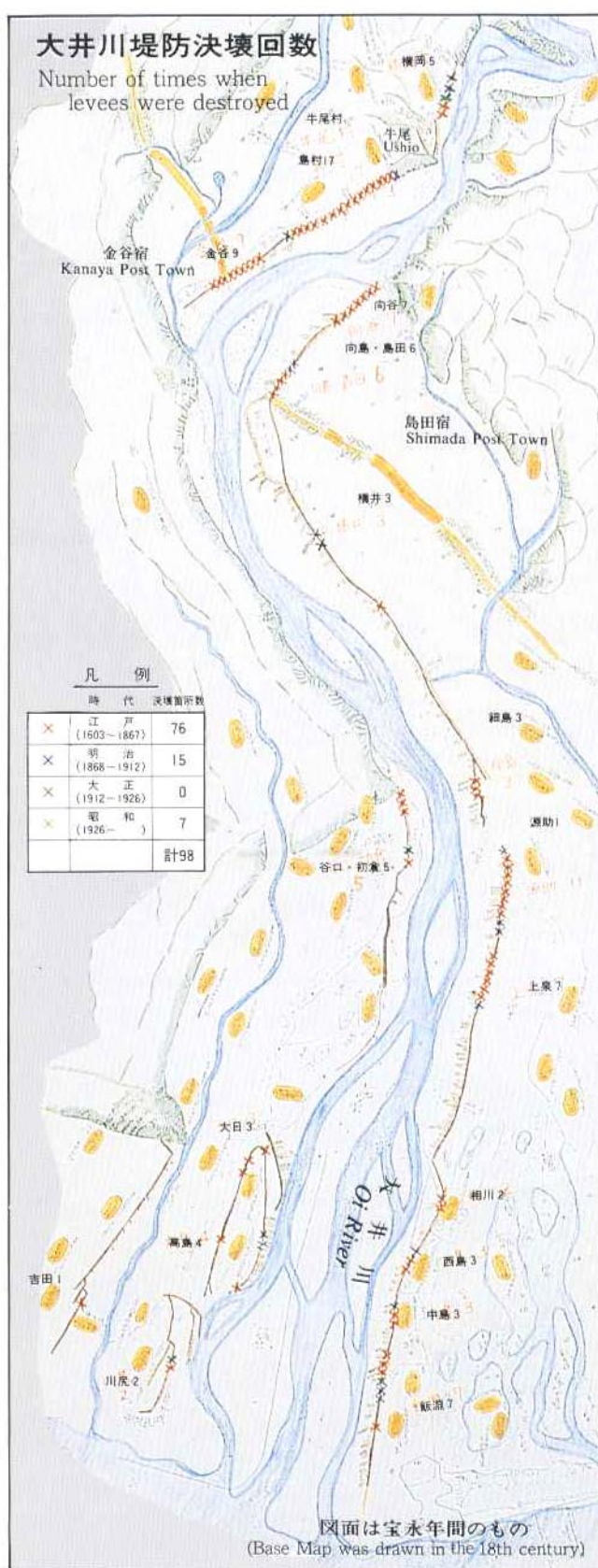
The stream velocity of the Oi River is high, and the mud flow including debris and blocks runs against levees while meandering. Therefore the same points of levees have been destroyed many times.



河川改修事業が進んだ今日でも激流に抗しきれず中小洪水においてさえ河道施設の被害が絶えない状況です。Even today in spite of continuous efforts for river improvement, river structures have been damaged by rapid streams even at the small-scale flood time.



大井川では、洪水のたびごとにすぎまじい量の流木が河道に残されます。A lot of trees are washed away and left in the Oi River by floods.

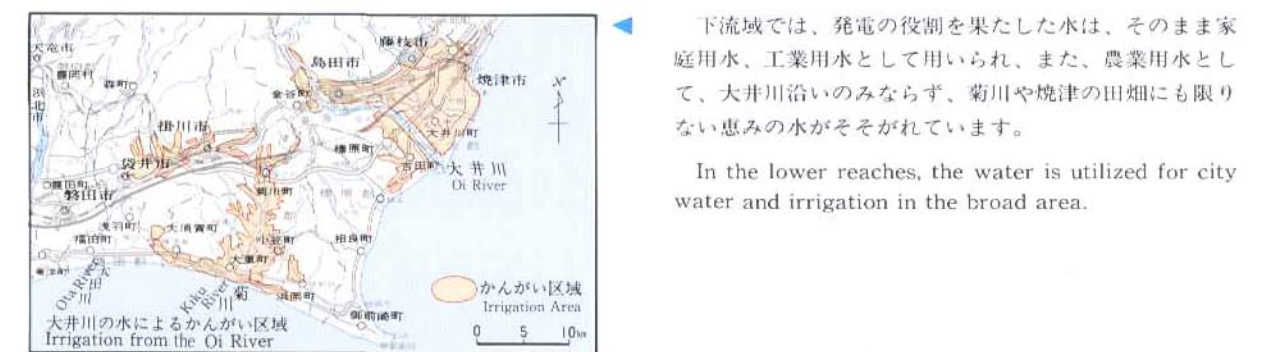
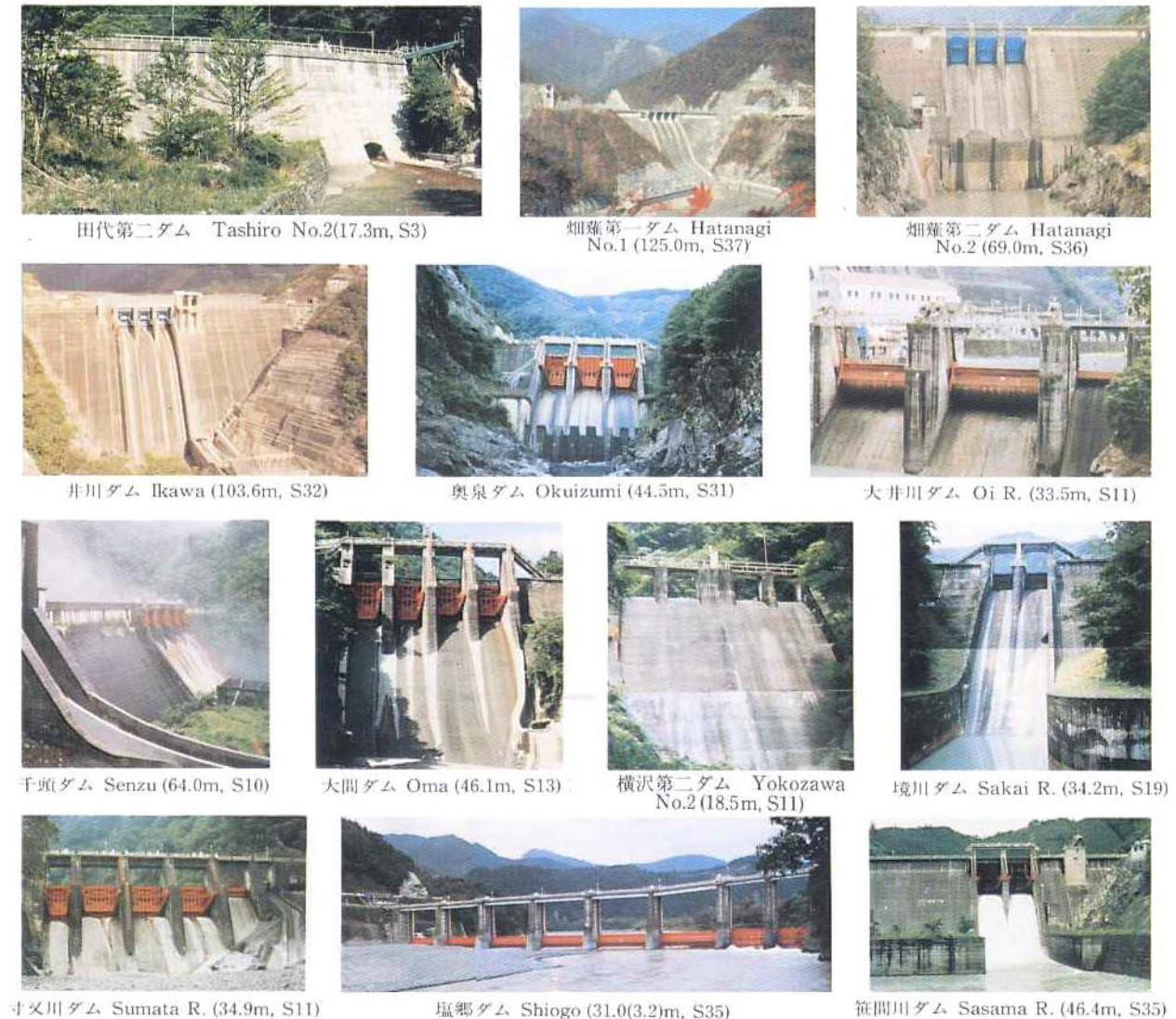


図面は宝永年間のもの (Base Map was drawn in the 18th century)

6. 水利用 WATER UTILIZATION

大井川の上流域は、その急峻な地形、多雨な気候条件から、発電用ダム建設の好適地が数多くあり、明治の終りごろから電源開発が始められ、現在多くの発電用ダムがあります。

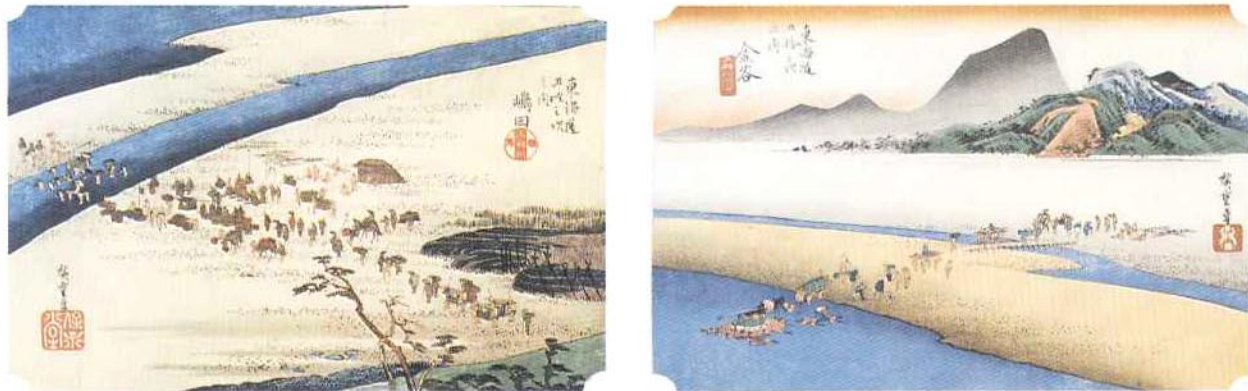
Narrow valleys and much precipitation enabled to construct many dams for electric power generation in the upper reaches of the Oi River.



かんがい区域 Irrigation from the Oi River

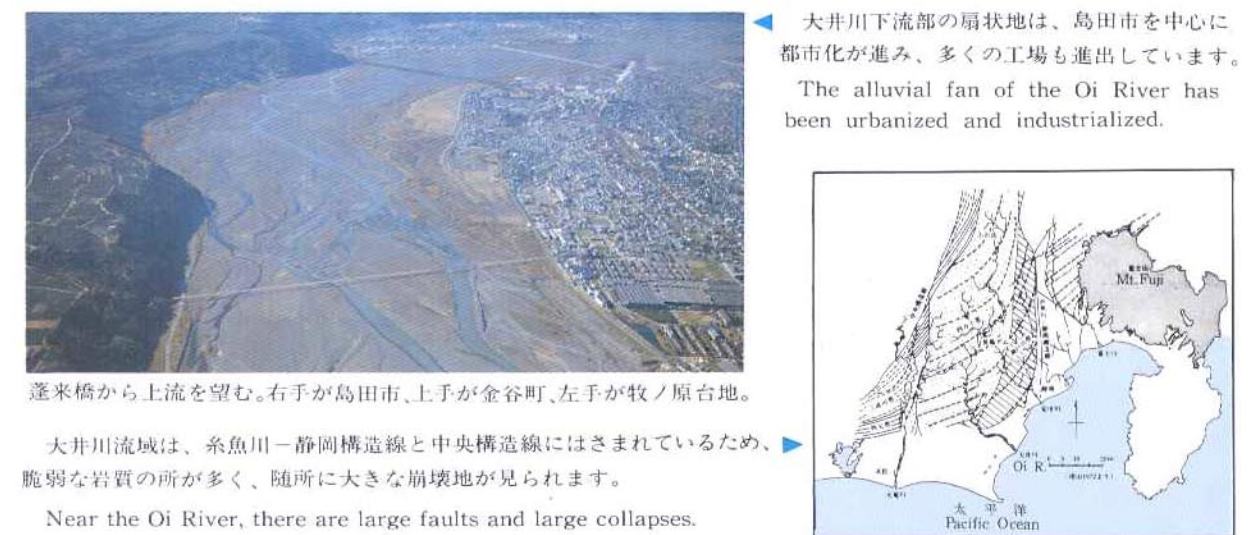
下流域では、発電の役割を果たした水は、そのまま家庭用水、工業用水として用いられ、また、農業用水として、大井川沿いのみならず、菊川や焼津の田畑にも限らない思みの水がそそがれています。In the lower reaches, the water is utilized for city water and irrigation in the broad area.

1. 大井川の概要 OUTLINE OF THE OI RIVER



▲島田 大井川は、街道中渡河の難所。見えない Shimada 向う岸が、川の大きさを思はせる。▲金谷 前の岸と反対の金谷側。Kanaya (drawn by Hiroshige in the 19th century)

「箱根八里は馬でも越すが越すが越されぬ大井川」と喧われ、暴れ川として全国にその名を知られた大井川も、今日では、水力発電や家庭用水、農業用水、工業用水にと使われ、流域の人々にさまざまな形で恩恵をもたらしています。Today, the water from the Oi River is used for power generation, city water, irrigation, and industry.



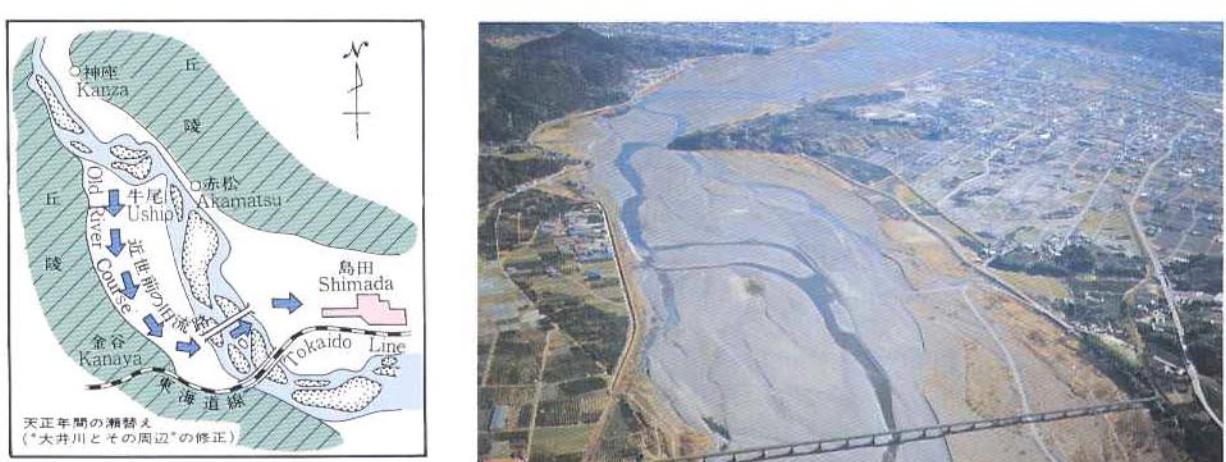
▲大井川下流部の扇状地は、島田市を中心に都市化が進み、多くの工場も進出しています。The alluvial fan of the Oi River has been urbanized and industrialized.



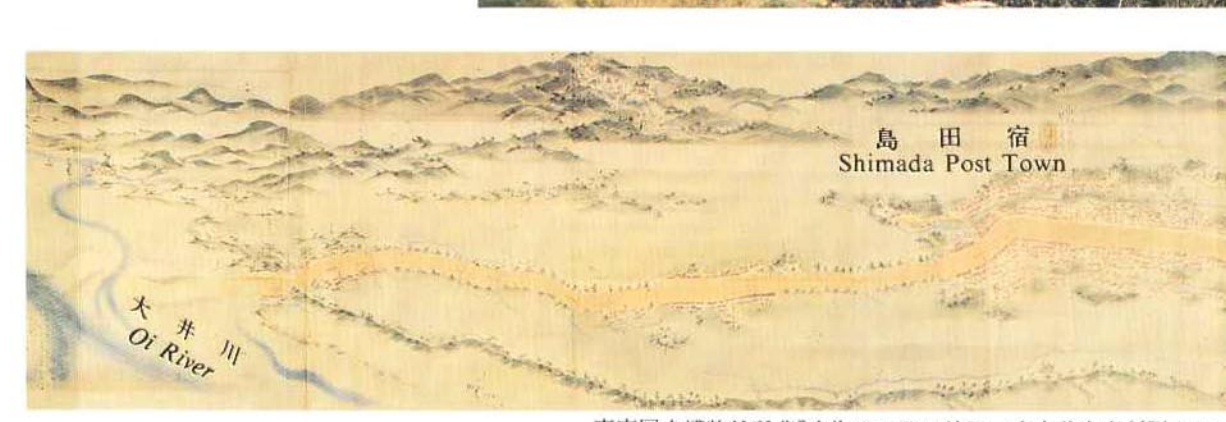
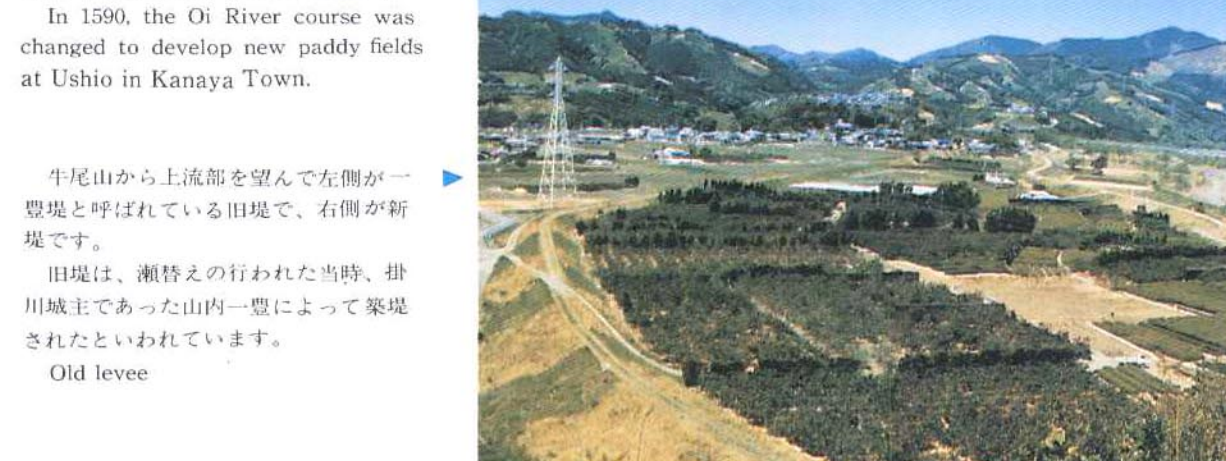
▲大井川は、3000m級の山々がそびえる南アルプスから流れ出ています。そして上流域は年平均雨量が3000mmを越す多雨地域であり、豊かな森林地帯を形成しています。The Oi River runs from the South Alps (height about 3000m). The average annual precipitation in the upper reach of the Oi River is about 3000 mm, and there are good forests.

▲大井川は、3000m級の山々がそびえる南アルプスから流れ出ています。そして上流域は年平均雨量が3000mmを越す多雨地域であり、豊かな森林地帯を形成しています。The Oi River runs from the South Alps (height about 3000m). The average annual precipitation in the upper reach of the Oi River is about 3000 mm, and there are good forests.

3. 大井川の歴史(2) HISTORY OF THE OI RIVER (2)



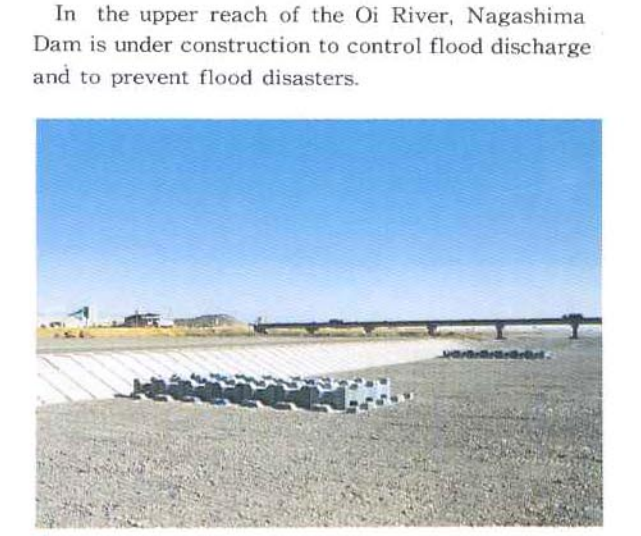
▲大井川治水の歴史の上で、最初の大規模な事業は、天正18年(1590)に行われた牛尾の瀬替えであり、これにより、金谷の旧河床上に新田が開発されました。In 1590, the Oi River course was changed to develop new paddy fields at Ushio in Kanaya Town.



東海道を要する島田宿は、しばしば洪水による被害を受け、その経験に基づき、「出し」といわれる水制や川倉(牛水制)を構築して激流から堤防を守るといった技術が、江戸時代にすでに生みだされていました。In the Edo Era (1600-1867), spur dikes and skeltons were used for protecting levees. (drawn by the government in the Edo Era in the 19th century)

5. 洪水防衛 FLOOD CONTROL

人々の生命や財産を水害から守り、梅雨や台風のシーズンも安心して生活できるようにするため、大井川の上流に長島ダムが建設されています。In the upper reach of the Oi River, Nagashima Dam is under construction to control flood discharge and to prevent flood disasters.



下流においては、河道を整備し、築堤を行い、強固な護岸で堤防を守っています。In the lower reach, river improvement works, embankment works, and bank protection works are being executed.

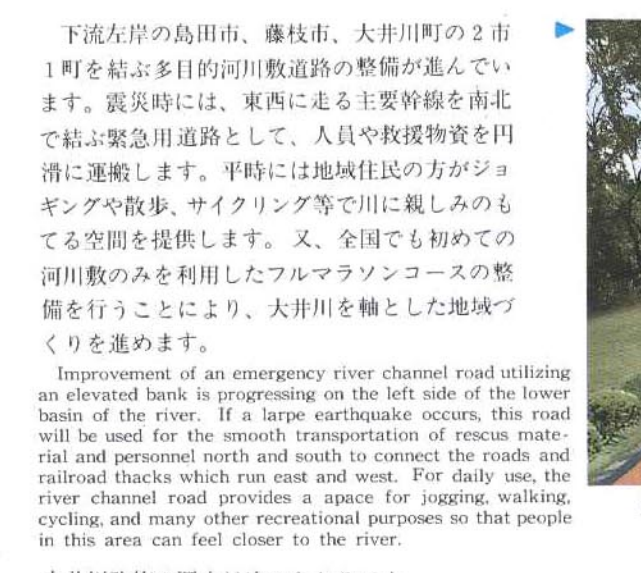
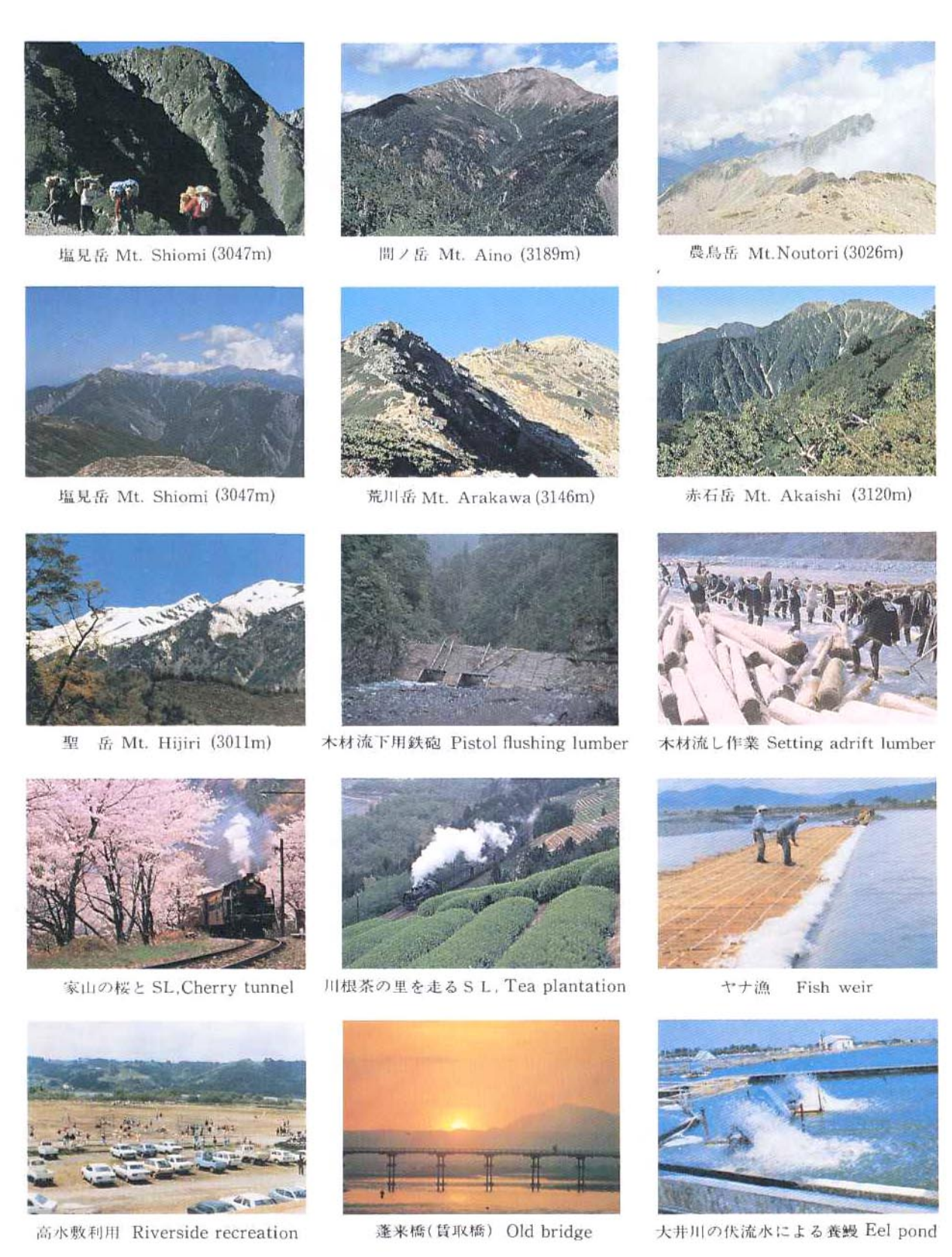


Table with 3 columns: Year, Content, and Description. It lists the history of the Oi River's improvement works from 1868 to 1939.

7. 流域の自然と生活 NATURE AND LIFE IN THE BASIN



高水敷利用 Riverside recreation 蓬萊橋(貫取橋) Old bridge 大井川の伏流水による養鱈 Eel pond

大井川管内図

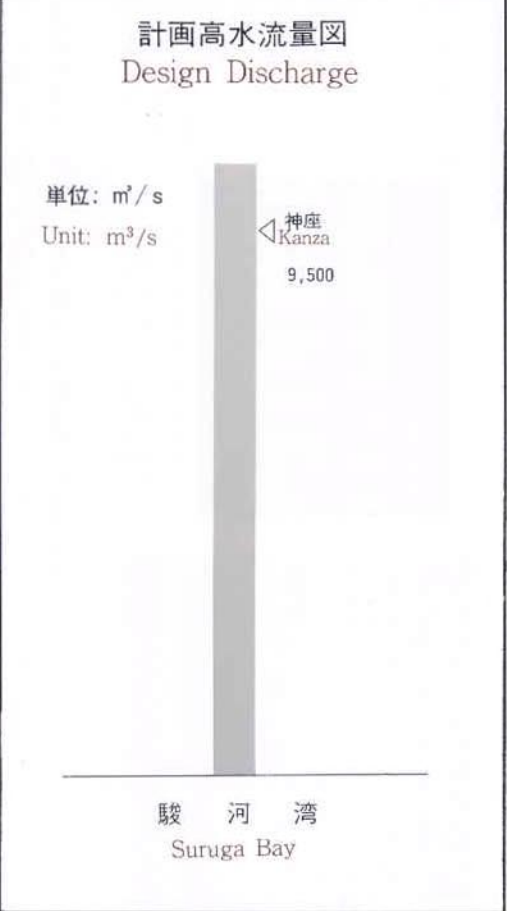
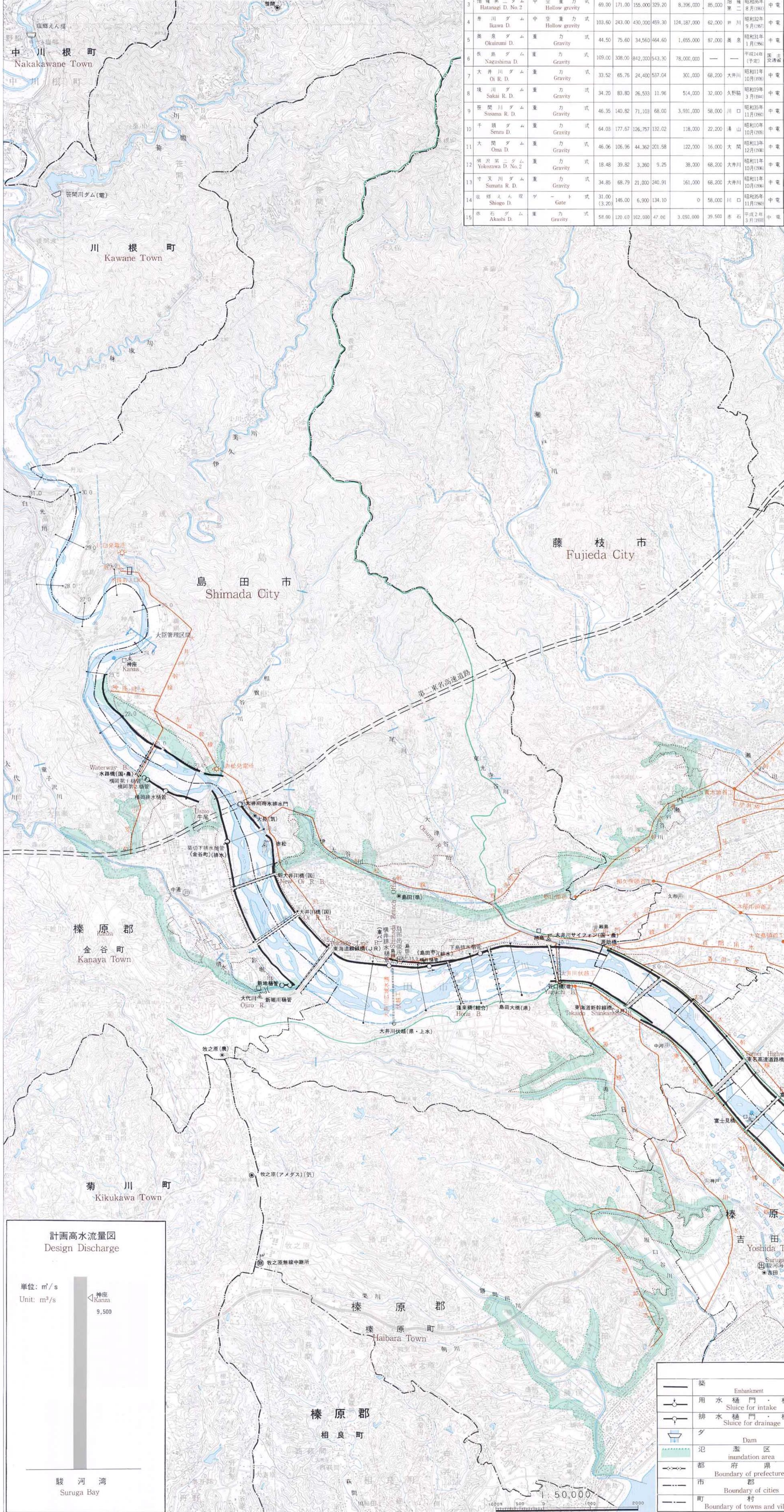
Oi River Jurisdiction Map

大井川水系ダム一覧表 Dams in the Oi River Basin

No.	名称	形式	高さ	堤頂長	総貯水容量	最大出力	発電開始	管理		
No.	Name	Type	Height	Length	Volume	Capacity	Start	Admin.		
1	田代第二ダム Tabire D. No. 2	重力式	17.30	106.47	10,490	108.00	134,000	21,000	昭和3年 11月19日	中電
2	畑原第一ダム Hatanagi D. No. 1	中空重力式	125.00	292.00	597,500	318.00	88,500,000	137,000	昭和39年 9月19日	中電
3	畑原第二ダム Hatanagi D. No. 2	中空重力式	69.00	171.00	155,000	329.20	8,396,000	85,000	昭和39年 9月19日	中電
4	井川ダム Ikawa D.	中空重力式	103.60	243.00	430,000	459.30	124,187,000	62,000	昭和39年 9月19日	中電
5	奥谷ダム Okuzumi D.	重力式	44.50	75.60	34,560	464.60	1,655,000	57,000	昭和31年 1月19日	中電
6	長瀬ダム Nagase D.	重力式	109.00	308.00	842,000	543.30	78,000,000	—	平成14年 (予定)	東電
7	大井川ダム Oi R. D.	重力式	33.52	65.75	24,400	537.04	300,000	68,200	昭和11年 10月19日	中電
8	坂井ダム Sakai R. D.	重力式	34.20	83.80	26,533	11.96	514,000	32,000	大野橋	中電
9	菅野川ダム Suzuno D.	重力式	46.35	140.82	71,103	68.00	3,931,000	58,000	川口	中電
10	千瀬ダム Sasuma D.	重力式	64.03	177.67	126,757	132.02	118,000	22,200	清山	中電
11	大間ダム Oma D.	重力式	46.06	106.96	44,362	201.58	122,000	16,000	大間	中電
12	横谷第二ダム Yokoyama D. No. 2	重力式	18.48	39.82	3,360	9.25	38,000	68,200	大野橋	中電
13	寸又川ダム Sunata R. D.	重力式	34.85	68.79	21,000	240.91	161,000	68,200	大野橋	中電
14	菅野ダム Suzuno D.	重力式	31.00	145.00	6,300	134.10	0	58,000	川口	中電
15	赤石ダム Akashi D.	重力式	58.00	120.00	162,000	47.00	3,092,000	39,500	赤石	中電

大井川流域図

River Basin Map



凡例		Introductory Remarks	
—	築堤	—	流域境界
—	用水樋門・樋管	—	大臣管理区間起終端
—	排水樋門・樋管	—	感潮区間上流端
—	ダム	—	距離標
—	氾濫区	—	一級・二級河川区域
—	都府県界	—	水路その他
—	市界	—	河川区域
—	町界	—	出張所
△	水位観測所(普通・自動)	△	雨量観測所(普通・自動)
□	流量観測所	○	雨量観測所(普通・自動)
○	雨量観測所(普通・自動)	○	水質観測所(一般・基準)
○	水質観測所(一般・基準)	○	地下水観測所(普通・自動)
○	地下水観測所(普通・自動)	○	無線・有線施設
○	無線・有線施設	○	Telemeter